# 指定管理者業務改善報告書

高年生きがいサロン（２・３・５・６号館）
市民会館・古市集会所
コミュニティセンター（羽曳が丘・丹比・東部）
スポーツ５施設（市民体育館・グレープヒルスポーツ公園・テニスコート・市民プール）
総合スポーツセンター
生活文化情報センター
南食ミートセンター
向野共同浴場

平成27年5月19日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者:　社会福祉法人　羽曳野市社会福祉協議会　会長　塩野　良一

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名:　生きがいサロン2号館　　（所管課:　地域包括支援課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 人員体制 | 計画的に研修等を実施している。 | C | C | 3 | 事業計画書どおりの研修を計画的に実施できなかった。今後は研修計画を立て、計画どおり研修を実施する。 | 改善できた | 研修の実施を行った。27年度以降も研修計画に基づく研修への取り組みを行う。 |
| 2 | 緊急対応 | 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。 | C | C | 2 | 危機管理マニュアルを整備しているが、定期的な訓練を実施しなかった。今後は訓練計画を立て、計画どおり訓練を実施する。 | 改善できた | 防災訓練の実施を行った。27年度以降も計画に基づいた訓練に取り組む。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年5月19日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者:　社会福祉法人　羽曳野市社会福祉協議会　会長　塩野　良一

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名:　生きがいサロン3号館　　（所管課:　地域包括支援課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 評価年度における収支状況は、赤字であった。 | 改善できていない | 指定管理料に対して、最大の経費節減に努力したものの改善は出来なかった。事業を行うにあたり最低限必要な経費もあり、引き続き努力を行っていくものの改善見通しについては未だ不透明である。 |
| 2 | 人員体制 | 計画的に研修等を実施している。 | c | c | 3 | 事業計画書どおりの研修を計画的に実施できなかった。今後は研修計画を立て、計画どおり研修を実施する。 | 改善できた | 研修の実施を行った。27年度以降も研修計画に基づく研修への取り組みを行う。 |
| 3 | 緊急対応 | 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。 | c | c | 2 | 危機管理マニュアルを整備しているが、定期的な訓練を実施しなかった。今後は訓練計画を立て、計画どおり訓練を実施する。 | 改善できた | 防災訓練の実施を行った。27年度以降も計画に基づいた訓練に取り組む。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年5月19日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者:　社会福祉法人　羽曳野市社会福祉協議会　会長　塩野　良一

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名:　生きがいサロン5号館　　（所管課:　地域包括支援課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 評価年度における収支状況は、赤字であった。 | 改善できた | 節電等など出来るだけの経費節減に取組み改善が図れた。 |
| 2 | 人員体制 | 計画的に研修等を実施している。 | c | c | 3 | 事業計画書どおりの研修を計画的に実施できなかった。今後は研修計画を立て、計画どおり研修を実施する。 | 改善できた | 研修の実施を行った。27年度以降も研修計画に基づく研修への取り組みを行う。 |
| 3 | 緊急対応 | 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。 | c | c | 2 | 危機管理マニュアルを整備しているが、定期的な訓練を実施しなかった。今後は訓練計画を立て、計画どおり訓練を実施する。 | 改善できた | 防災訓練の実施を行った。27年度以降も計画に基づいた訓練に取り組む。 |
| 4 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | d | d | 2 | 平成24年度利用者数　16,624人<br>平成25年度利用者数　13,207人<br>増減率　21%減少 | 改善できた | 平成26年度利用者数　14,539人　約10%の増となった。 |
| | | | | | | | | |

平成27年5月19日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者:　社会福祉法人　羽曳野市社会福祉協議会　会長　塩野　良一

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名:　生きがいサロン6号館　　（所管課:　地域包括支援課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 評価年度における収支状況は、赤字であった。 | 改善できていない | 指定管理料に対して、最大の経費節減に努力したものの改善は出来なかった。事業を行うにあたり最低限必要な経費もあり、引き続き努力を行っていくものの改善見通しについては未だ不透明である。 |
| 2 | 人員体制 | 計画的に研修等を実施している。 | c | c | 3 | 事業計画書どおりの研修を計画的に実施できなかった。今後は研修計画を立て、計画どおり研修を実施する。 | 改善できた | 研修の実施を行った。27年度以降も研修計画に基づく研修への取り組みを行う。 |
| 3 | 緊急対応 | 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。 | c | c | 2 | 危機管理マニュアルを整備しているが、定期的な訓練を実施しなかった。今後は訓練計画を立て、計画どおり訓練を実施する。 | 改善できた | 防災訓練の実施を行った。27年度以降も計画に基づいた訓練に取り組む。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年　5月20日

# 業　務　改　善　報　告　書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：羽曳野市施設管理公社　理事長　東野　恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：羽曳野市市民会館・古市集会所　　（所管課：市民人権部市民協働ふれあい課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 収支が赤字になったため | 改善できた | 収支の赤字については、経費削減を行ったことにより改善することができた。今後についても、経費削減や予算執行の見直しを図りより適正な予算管理を実施していきます。 |
| 2 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | d | d | 2 | 施設の利用人数の減少（前年度比6%の減少）があったことから | 改善できた | 利用推進に努めており、その結果、平成26年度は平成25年度と比べて1,020人の利用者を増加することができました。今後も一層利用者の増加を図るような施設の案内やチラシ配布、ホームページ掲載の見直しを実施して、利用促進に努めていきます。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年　5月20日

# 業　務　改　善　報　告　書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：羽曳野市施設管理公社　理事長　東野　恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：羽曳が丘コミュニティセンター　（所管課：市民人権部市民協働ふれあい課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 利用者対応 | 言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。 | c | c | 3 | 利用者からの問い合わせに対応した職員の効き間違いによる案内不備 | 改善できた | 全職員に対して課内ミーティング等を実施し、問い合わせ内容を復唱するなどで、間違った対応とならないように徹底し、今後も継続して行っていく。 |
| 2 | 経費の執行管理 | 経費が削減され、またはその節減に向けた努力を行っている。（非公募で精算制をとっている施設のみ対象） | d | d | 2 | 光熱水費の増加と、空調設備に不具合が発生したことによる修繕費の増加 | 改善できていない | 現在、省エネ、節電等により管理運営に係る経費節減の取組みを継続して実施し、電力、ガスなどの使用量の削減に取り組んでいます。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：羽曳野市施設管理公社　理事長　東野　恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：　羽曳野市立丹比コミュニティセンター　（所管課：　市民協働ふれあい課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 光熱水料費の高騰及び計上予算不足による赤字。 | 改善できていない | 現在、省エネ、節電等により管理運営に係る経費節減の取組みを継続して実施し、電力、ガスなどの使用量の削減に取り組んでいます。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年　5月20日

# 業　務　改　善　報　告　書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：羽曳野市施設管理公社　理事長　東野　恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：羽曳野市立東部コミュニティセンター　　（所管課：市民人権部市民協働ふれあい課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | C | C | 3 | 施設の利用数が前年度と比べて45人減少した。 | 改善できた | ホームページを開設し利用の拡大に努めました。新規利用者が増え、前年度に比べて5%利用人数が増加しました。今後も、利用者の増加を図るような努力を継続していきます。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成　　年　　月　　日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：　一般財団法人　羽曳野市施設管理公社　理事長　東野恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：　5施設（市民体育館・市民体育館屋外テニスコート・市民プール・駒ヶ谷テニスコート・グレープヒルスポーツ公園）（所管課：教育委員会生涯スポーツ振興課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | C | C | 3 | 施設や事業のPR等を行い利用促進を図りましたが、前年度実績に及びませんでした。 | 改善できていない | 施設利用者（個人や団体）と空いている区分を埋めるべく協議し、利用促進を図っている。（去年10月からはトレーニング室を廃止し、卓球台を増設を行った）しかし、施設や備品が老朽化し（特に体育館の卓球台）、利用者からも更新の要望が多をくある。修繕できる場所については修繕し、施設管理を行っている。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年5月20日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：　（一財）羽曳野市施設管理公社　理事長　東野　恭知

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：　羽曳野市立総合スポーツセンター　（所管課：　スポーツ振興課　）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 経費の執行管理 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | d | d | 2 | 収入（利用料）は黒字だが、支出が赤字だった。 | 改善できたが、一部に課題が残っている | 平成26年度は収支予算の範囲内で収まりました。今後の課題は光熱費（電気代）が値上がりすることから、節電策として照明器具のLED化に取り組んでまいります。 |
| 2 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | c | c | 3 | 施設や事業のPRを行い利用促進を図りましたが、前年度実績に及びませんでした。 | 改善できた | 体育館アリーナの空いている区分を一般開放し、個人利用（卓球・バドミントン）として活用しました。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成 27 年 5 月 22 日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長 様

指定管理者代表者：株式会社 みのりの里 代表取締役 北村 修一

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：市立生活文化情報センター （所管課：市長公室情報政策課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 利用者対応 | 利用者等で構成する組織を設置し、同組織よりの意見・要望を業務の改善等に反映させている。 | c | c | 3 | 利用者で構成する特段の組織は設置していない。利用者個々からの意見は拝聴しサービスの改善に取り組んでいる。 | 改善できたが、一部に課題が残っている | 施設ご利用のお客様のご意見を施設運営に反映させるため、平成27年2月に定期利用者の皆さんを対象とするアンケートを行いました。平成27年度には、利用頻度の高い団体の方やテナント会等に呼び掛けて、施設の在り方についての意見交換の会議体を発足させる予定です。 |
| 2 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | a | c | 3 | 利用率の低い設備を改修する等を行ったが前年度に比べて利用者数が18%減となった。 | 改善できたが、一部に課題が残っている | 定期ご利用者がテナントエリアに移られたり、雨漏りの影響でアトリウムの貸し出しが年度途中からできなくなったため大きく利用料収入が減少に転じる懸念がありましたが、従来のご利用者様へのご利用促進やイベント等による会館の普及活動などに努めた結果、施設ご利用の申し込み件数、施設利用料収入は前年比プラスに転じました。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年3月31日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：南大阪食肉卸商業協同組合　理事長　和島正義

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：羽曳野市立南食ミートセンター　（所管課：環境衛生課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 環境配慮 | 省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。 | b | c | 2 | 解体作業時には以外の節電には配慮されているものの、こまめな節水には至っていない。 | 改善できた | 解体作業時には大量の水を使用する必要があるため、節水に対する作業員の意識が低かったが、指定管理者への節水意識の啓発に取組んだ結果、使用量の抑制が図られた。 |
| 2 | 緊急対応 | 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。 | c | c | 2 | 緊急時マニュアルは整備されているが、定期的な訓練は実施されていない。今後、必要に応じ、訓練の実施を指導していく。 | 改善できたが、一部に課題が残っている | 指定管理者に対し、緊急時における定期訓練の実施を指導した。それを受けて管理者では、訓練の実施手順を検討するなどの準備を進めている。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

平成27年3月31日

# 業 務 改 善 報 告 書

羽曳野市長　様

指定管理者代表者：向野町会　会長　風呂谷　幸蔵

平成26年度実施のモニタリングにおいて、改善が必要であることが明らかとなった下記の項目に対して、以下のように改善したことを報告します。

施設名：羽曳野市立向野共同浴場　（所管課：環境衛生課）

| 改善項目数 | 評価項目 | 評価指標 | 1次評価 | 2次評価 | 委員会評価点数 | モニタリング時の状況 | 取り組み結果 | モニタリング後の取り組み（改善内容）<br>※一部、或いは全体的に改善できていない場合は、どこに課題があり、今後、どのように取り組んで、いつ、改善される見通しかを記入してください。 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | サービス・利用の向上 | 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。 | C | C | 3 | 施設の老朽化・利用者の高齢化・市営住宅内浴室設置数増加により、利用者が減少している。 | 改善できていない | 施設の老朽化及び設備の不備が大きな課題で、250円という、経費に見合わない利用料設定をもってしても集客できていないのが現状。今秋にも50円の値上げ実施を検討中であるが、利用者数の改善見通しは、全くたたない。 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |